



# 第11期第2四半期 決算補足資料

FY2021 2nd Quarter  
2020.3.1~2020.8.31  
Financial results

SFPホールディングス株式会社 証券コード：3198 (TYO)

## Index

---

2021年2月期2Q 業績ハイライト(連結)	3P
売上高(業態別)の四半期推移	4P
既存店前年比(コロナ禍)	5P
損益計算書(連結)	6P
貸借対照表(連結)	7P
コロナ禍の取組み	8P
今後の取組み	10P
業績ガイダンス(変更無し)	11P
株主還元	12P
Appendix	13P

# 業績のハイライト(連結)

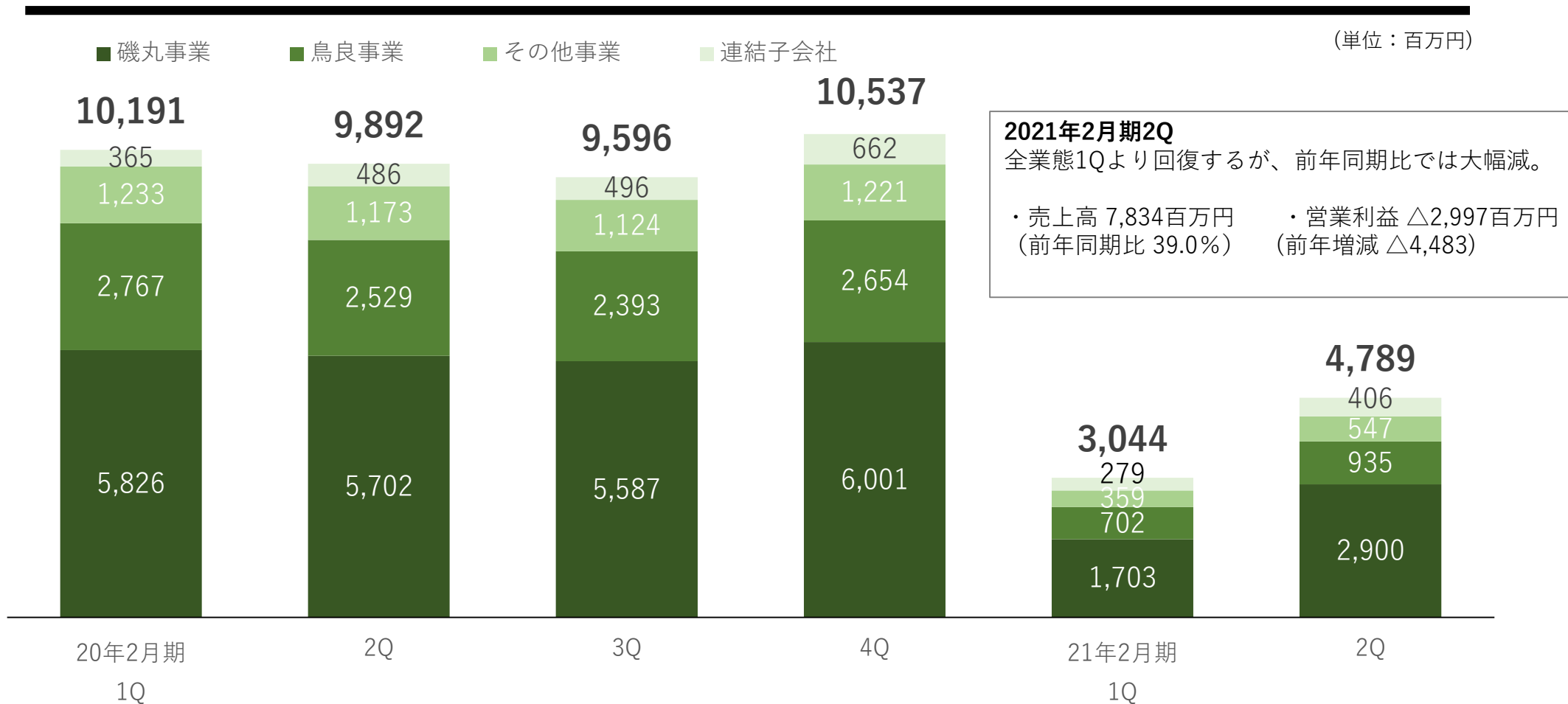
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自粛要請に際して、SFP直営全店休業(4月)、時短営業(5月～)の措置、6月以降は緩やかな回復傾向にあったものの、東京都・大阪府の**営業時間短縮要請により8月は足踏み**
- 9月速報値、時短要請全面解除後、**回復傾向が鮮明**、GoToキャンペーンに期待
- **デリバリー専門店**「うなぎの岡島」の展開を7月21日より開始、9月1日には「からあげ専門店 巨匠の食卓」の展開を開始
- **2Qまでに9店舗の退店**、不採算店舗は今後適宜退店を検討(現時点で更に27店舗の退店を意思決定済み)

(百万円)	2021年2月期			2020年2月期	前期比	
	1Q (20年3月～5月)	2Q (20年6月～8月)	2Q累計 (20年3月～8月)	2Q累計 (19年3月～8月)	増減	前期比
売上高	3,044	4,790	7,834	20,080	△ 12,246	39.0%
営業利益	△ 1,580	△ 1,417	△ 2,997	1,486	△ 4,483	-
経常利益	△ 1,470	△ 1,312	△ 2,782	1,688	△ 4,464	-
税引前利益	△ 2,084	△ 1,210	△ 3,295	1,477	△ 4,772	-
純利益	△ 1,465	△ 927	△ 2,294	954	△ 3,248	-

# 売上高(業態別)の四半期推移

■ 新型コロナウイルス感染症拡大により、2021年2月期1Qは全店休業(4月)・時短営業(5月)、全業態で売上高大幅減。2Qは緩やかな回復傾向(6月~7月)も、営業時間短縮要請により足踏み(8月)

売上高(業態別)の四半期推移

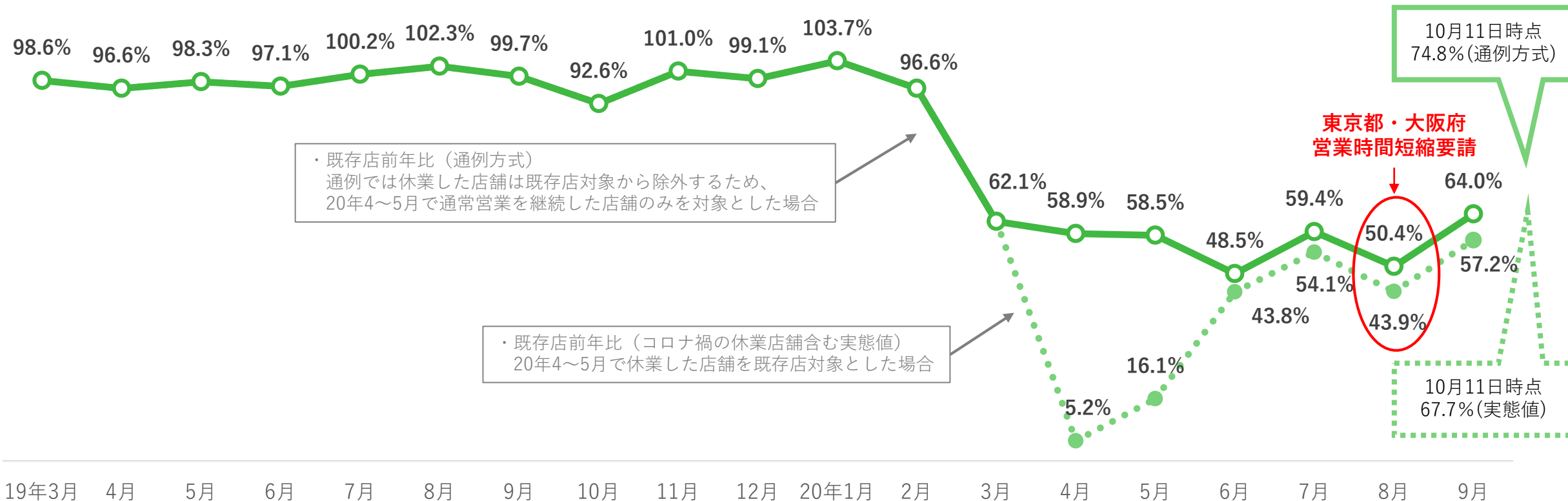


磯丸事業：磯丸水産全店  
 鳥良事業：鳥良、鳥良商店、おもてなし鳥良

その他事業：きづなすし、五の五、いち五郎他  
 連結子会社：ジョー・スマイル(熊本)、クルークダイニング(長野)

# 既存店前年比(コロナ禍)

- 1Q：インバウンド需要の剥落、宴会の自粛拡大、緊急事態宣言発令で急落
- 2Q：緩やかな回復傾向にあったものの、東京都・大阪府の営業時間短縮要請により8月は足踏み
- 3Q：速報値、時短要請全面解除後、回復傾向が鮮明、GoToキャンペーンに期待



・既存店前年比 (通例方式)  
通例では休業した店舗は既存店対象から除外するため、  
20年4~5月で通常営業を継続した店舗のみを対象とした場合

・既存店前年比 (コロナ禍の休業店舗含む実態値)  
20年4~5月で休業した店舗を既存店対象とした場合

東京都・大阪府  
営業時間短縮要請

10月11日時点  
74.8% (通例方式)

10月11日時点  
67.7% (実態値)

19年3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 20年1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月

20年2月期 (前期) | 21年2月期1Q | 2Q | 3Q

既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗  
 既存店前年比 (通例方式)：1日でも休業した既存店は既存店前年比算出対象から除外

# 損益計算書(連結)

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、売上は前年同期比△61.0%、販売管理費抑制、雇用調整助成金1,519百万円を特別利益に計上も、2021年2月期2Q最終赤字2,294百万円

(百万円)	2021年2月期2Q (20年3月～8月)		2020年2月期2Q (19年3月～8月)		前年同期比	
	実績	売上構成比	実績	売上構成比	増減	増減率
売上高	<b>7,834</b>	100.0%	20,080	100.0%	△12,246	△61.0%
売上原価	<b>2,294</b>	30.1%	5,852	29.1%	△3,558	△60.8%
売上総利益	<b>5,539</b>	70.7%	14,227	70.9%	△8,688	△61.1%
販管費	<b>8,536</b>	-	12,740	63.4%	△4,204	△33.0%
営業利益	<b>△2,997</b>	-	1,486	7.4%	△4,483	-
営業外収益	<b>247</b>	-	218	-	29	-
営業外費用	<b>32</b>	-	23	-	9	-
経常利益	<b>△2,782</b>	-	1,682	8.4%	△4,464	-
特別利益	<b>1,519</b>	-	65	-	1,454	-
特別損失	<b>2,032</b>	-	269	-	1,763	-
税引前利益	<b>△3,295</b>	-	1,477	-	△4,772	-
当期純利益	<b>△2,294</b>	-	954	4.8%	△3,248	-

# 貸借対照表(連結)

■ コロナ禍、赤字計上も現預金128億円、自己資本比率は49.9%

(百万円)	2021年2月期2Q (20年8月末)	2020年2月期4Q (20年2月末)	増 減	要 因
流動資産	14,019	8,727	+5,292	
うち現預金	12,867	7,148	+5,719	
その他	761	757	+ 4	
固定資産	14,173	14,248	△ 75	
投資その他の資産	5,778	4,943	+835	主に繰延税金資産計上
資産合計	28,193	22,975	+5,218	
流動負債	12,234	4,881	+7,353	
うち有利子負債	9,610	137	+9,473	主に短期借入金 +9,340
固定負債	1,876	1,722	+154	主に長期借入金 +330
負債合計	14,110	6,604	+7,506	
自己資本	14,086	16,380	△ 2,294	利益剰余金 △2,294
純資産合計	14,082	16,371	△ 2,289	
負債・純資産合計	28,193	22,975	+5,218	

ネットD/Eレシオ(倍)	△ 0.2	△ 0.4	+0.2
自己資本比率	49.9%	71.3%	△21.4%

# コロナ禍の取り組み

## ① 安心安全な店づくり・10の取り組み

厚生労働省による新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針をもとに、全店で感染防止の為に「10の取り組み」を実施しております。

<SFP 大切なお客様へ～10の取り組み>

### 大切なお客様へ～10の取り組み

新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて

**アルコール除菌を**



徹底します

**① 従業員のマスク着用の推奨**  
従業員のマスクの着用の推奨と手指の殺菌を徹底します。

**間隔を開ける**



にてご案内します

**② アルコール消毒液の設置**  
店舗入口付近にアルコールを設置し、お客様にアルコール除菌のご協力頂いております。

**店内換気のいいお店!**



5分に1回、店内の換気をして空気を入れ替えております。

**③ テーブル間隔を開けてご案内**  
お客様のお席は、適度な間隔を開けてご案内します。または、アクリル板を設置し飛沫感染防止に努めます。

**従業員の手洗いを**



徹底します

**④ 使用後の消毒**  
メニューブック・タブレットはお客様のお会計後に消毒しております。

**店内換気のいいお店!**



5分に1回、店内の換気をして空気を入れ替えております。

**⑤ ご利用時にお渡し**  
取り皿やお箸はお客様の着席後に提供いたします。(調味料・楊枝も下げておりますので 必要な際はスタッフにお申し付け下さい)

**店内換気のいいお店!**



5分に1回、店内の換気をして空気を入れ替えております。

**⑥ 店内の換気**  
当店は排気ダクトによる独自の換気システムを店全体に導入しております。店内の空気は5分に1回入れ替わる計算で設計しています。その為、換気の良い状態で楽しんでいただけます。

**従業員の手洗いを**



徹底します

**⑦ ジェットタオルの使用停止**  
ウイルス拡散を防止する為、トイレ内のジェットタオルの使用を停止いたします。

**従業員の手洗いを**



徹底します

**⑧ 店内の消毒**  
定期的に入口ドア、トイレのドアノブ、手すりなどの消毒を行っております。

**従業員の手洗いを**



徹底します

**⑨ キャッシュトレイの使用**  
お会計時には、キャッシュトレイを使用させて頂いております。

**従業員の手洗いを**



徹底します

**⑩ 従業員の検温と体調管理**  
万が一、発熱や体調不良の際には、勤務せず、自宅待機させております。

## ② メニュー見直しによるロス削減

磯丸水産のグランドメニューの見直しにより、食材ロスの削減、オペレーションの改善を行い、効率的な店舗運営を実現





# コロナ禍の取り組み

## ③ テイクアウト拡充・デリバリー開始(5月～)

丼物を中心としたテイクアウトメニューに加え、  
 浜焼き・オードブル・お弁当などを大幅拡充。  
 磯丸水産や鳥良商店において、  
 テイクアウトサービス「LINEポケオ」、  
 デリバリーサービスの「Uber Eats」、「出前館」を  
 導入いたしました。



「磯丸水産テイクアウトメニュー」

## ④ デリバリー専門店の展開(7月～)

直営既存店のキッチンを活用したデリバリー専門店の  
 展開を開始いたしました。  
 ふっくら美味しいうなぎをリーズナブルに提供する  
 「うなぎの岡島」を7月21日より、  
 ごろっと大きく、カリッとジューシーなからあげを提供する  
 「からあげ専門店 巨匠の食卓」を9月1日より展開。  
 デリバリーサービス「Uber Eats」、「出前館」より  
 ご注文いただけます。



「うなぎの岡島」



「からあげ専門店 巨匠の食卓」



# 今後の取組み

## ■ 収支構造の見直し及び新たなビジネスモデルの構築を目指す

<b>①不採算店舗の退店</b>	コロナ禍による外部環境の激変を受け、不採算となった店舗については適切なタイミングで退店の要否を判断、収支の改善を図る。
<b>②新たなビジネスモデルの構築</b>	既存店舗を活用したデリバリー専門店の展開等による<withコロナ時代>に適応する新たなビジネスモデルの構築、売上プラスオンを目指す。
<b>③コーポレート業務の効率化とコスト削減</b>	グループ内のシェアードサービス機能を担う合併会社設立(株式会社クリエイティブ・サービス)、コーポレート業務の共通化・標準化によるコスト削減を図り、グループ全体のコーポレート業務の効率的運用を目指す。
<b>④GoToイートキャンペーンへの参加</b>	オンライン飲食予約サイトから予約・来店後に次回以降に使用できるポイントが付与される。約200店舗(グループ全体の約98%の店舗)が参加中。プレミアム付食事券やGoToトラベル地域共通クーポンへの対応も検討中。
<b>⑤役員報酬の自主返上の継続</b>	新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ 2020年4月より実施している役員報酬の自主返上について、最近の業績動向を踏まえ更に2020年10月から期末まで(5カ月間)の延長を決定。

# 業績ガイダンス（変更無し）

- 依然として不透明な状況続く、売上高が既存店前年比90%までしか回復しない前提で最終赤字1,300百万円の予想(前年1,461百万円の黒字)

2021年2月期：最終赤字 1,300百万円（前年同期1,461百万円の黒字）

業績予想の前提

**[営業]** 2020年7月、一部の店舗を除いて通常営業再開するが、席の間引き対応など一定の営業制限を継続

**[売上]** 既存店前年比は、3Qで90%に回復する見通し

**[支出]** 人員採用抑制、経費削減の取り組みを実施、新規出店やM&Aなどの投資は一旦凍結

**[退店]** 採算性の低い店舗は、今期中に順次退店して来期以降の収益性向上を図る

**[子会社]** ジョー・スマイル社(熊本)、クルークダイニング社(長野)ともに前期出店した磯丸水産の通年稼働

(百万円)	20年2月期 (19年3月～20年2月)	21年2月期 (20年3月～21年2月)	22年2月期 (21年3月～22年2月)	23年2月期 (22年3月～23年2月)
	実績	見通し	計画	計画
売上高	40,216	<b>25,000</b>	30,000	32,000
営業利益	2,549	<b>△ 2,500</b>	800	1,400
経常利益	2,914	<b>△ 2,200</b>	1,000	1,600
経常利益率(%)	7.2%	-	3.3%	5.0%
純利益	1,461	<b>△ 1,300</b>	700	1,100

# 株主還元

- コロナ禍による業績悪化により中間配当は無配、期末配当予想は未定

## 2021年2月期 中間配当および期末配当

コロナ禍による業績悪化により、中間配当については**無配**、先行き不透明につき、期末配当予想は**未定**とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

## 2020年8月31日以降の権利確定分の株主優待券

**従来通り**、毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1单元（100株）以上ご所有の株主様を対象として**株主優待券を贈呈**いたします。

年2回 お食事券 贈呈	基準日	2月末日	8月31日
	贈呈時期	6月上旬頃	11月中旬頃
保有 株式数	100株～499株	お食事券 4,000円分	お食事券 4,000円分
	500株～999株	お食事券 10,000円分	お食事券 10,000円分
	1,000株～	お食事券 20,000円分	お食事券 20,000円分



## Appendix

---

損益計算書(連結) 四半期別

貸借対照表(連結) 四半期別

既存店前年比

# 損益計算書(連結) 四半期別

(百万円)	2020年2月期 (19年3月～20年2月)				2021年2月期 (20年3月～8月)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	10,191	9,888	9,599	10,537	3,044	4,790
鳥良事業	2,767	2,528	2,393	2,653	702	935
磯丸事業	5,826	5,701	5,586	6,000	1,703	2,900
その他事業	1,233	1,173	1,123	1,221	359	547
連結子会社	364	485	495	661	279	406
売上原価	2,928	2,924	2,818	3,021	914	1,379
売上総利益	7,262	6,964	6,781	7,516	2,129	3,410
販管費	6,325	6,415	6,446	6,788	3,709	4,827
営業利益	936	549	334	727	△1,580	△1,417
営業外収益	127	90	93	91	119	128
営業外費用	7	9	12	9	9	23
経常利益	1,056	631	416	809	△1,470	△1,312
特別利益	65	0	0	81	1,057	462
特別損失	27	248	11	460	1,671	361
税引前利益	1,094	382	404	430	△2,084	△1,210
当期純利益	723	230	233	273	△1,465	△829

# 貸借対照表(連結) 四半期別

(百万円)	2020年2月期 (20年2月末)	2021年2月期	
		1Q (20年5月末)	2Q (20年8月末)
流動資産	8,727	14,389	14,019
うち現預金	7,148	12,511	12,867
その他	757	1,609	761
固定資産	14,248	14,479	14,173
投資その他の資産	4,943	5,484	5,778
資産合計	22,975	28,869	28,193
流動負債	4,881	11,958	12,234
うち有利子負債	137	9,470	9,610
固定負債	1,722	2,002	1,876
負債合計	6,604	13,960	14,110
自己資本	16,380	14,915	14,086
純資産合計	16,371	14,908	14,082
負債・純資産合計	22,975	28,869	28,193

# 既存店前年比

2020年2月期	19年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年1月	2月
前年比	98.6%	96.6%	98.3%	97.1%	100.2%	102.3%	99.7%	92.6%	101.0%	99.1%	103.7%	96.6%
既存店数	217	219	221	224	244	243	238	237	242	235	233	227

## < 通例方式 >

2021年2月期	20年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 (速報値)
前年比	62.1%	58.9%	58.5%	48.5%	59.4%	50.4%	64.0%
既存店数	237	5	6	198	203	193	197

既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗(通例)  
 既存店前年比（通例方式）：1日でも休業した既存店は既存店前年比算出対象から除外

## < コロナ禍の休業店舗含む実態値 >

2021年2月期	20年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 (速報値)
前年比	62.1%	5.2%	16.1%	43.8%	54.1%	43.9%	57.2%
既存店数	237	238	239	236	237	233	231

既存店前年比（コロナ禍の休業店舗含む実態値）：休業した既存店を既存店前年比算出対象として算入



本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

[本資料に関するお問い合わせ先]

S F Pホールディングス 経営企画部

TEL： 044-750-7154

ホームページ： <https://www.sfpdining.jp>